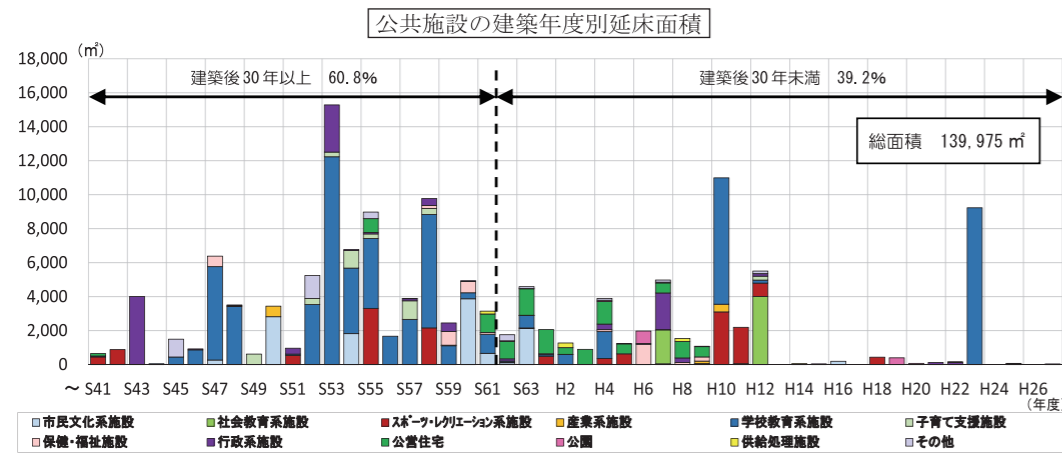


これからの公共施設を考える

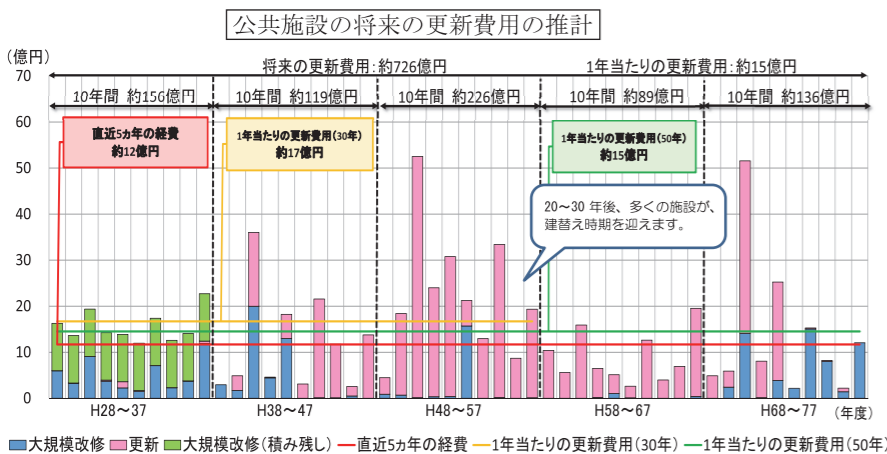
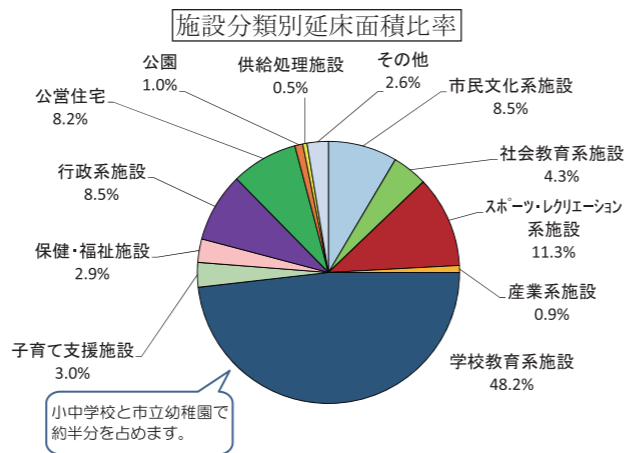


**公共施設の現状**  
市の公共施設は113施設、総延床面積約14万㎡となっています。公共施設の多くが、昭和50年代から昭和60年代に集中的に整備したため、今後一斉に老朽化が進んでいきます。

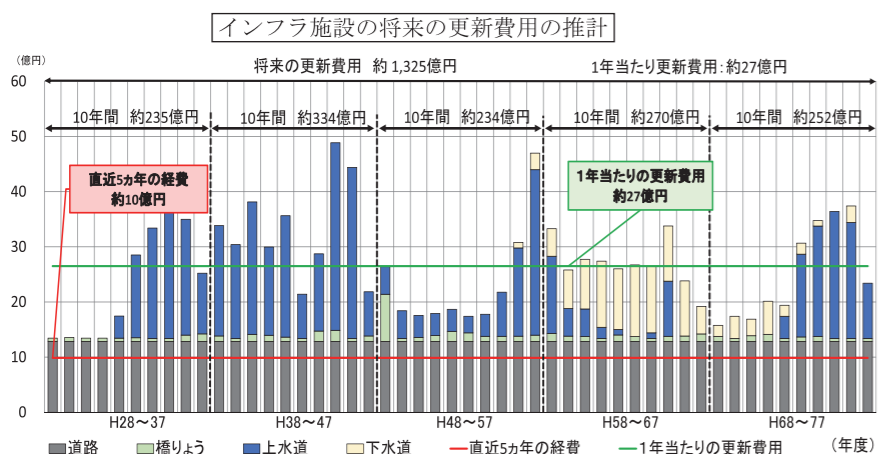
インフラ資産の保有量

| 分類   | 数量等        |
|------|------------|
| 道路   | 1,039.6 km |
| 橋りょう | 320 橋      |
| 上水道  | 425.1 km   |
| 下水道  | 104.5 km   |
| 都市公園 | 11 箇所      |

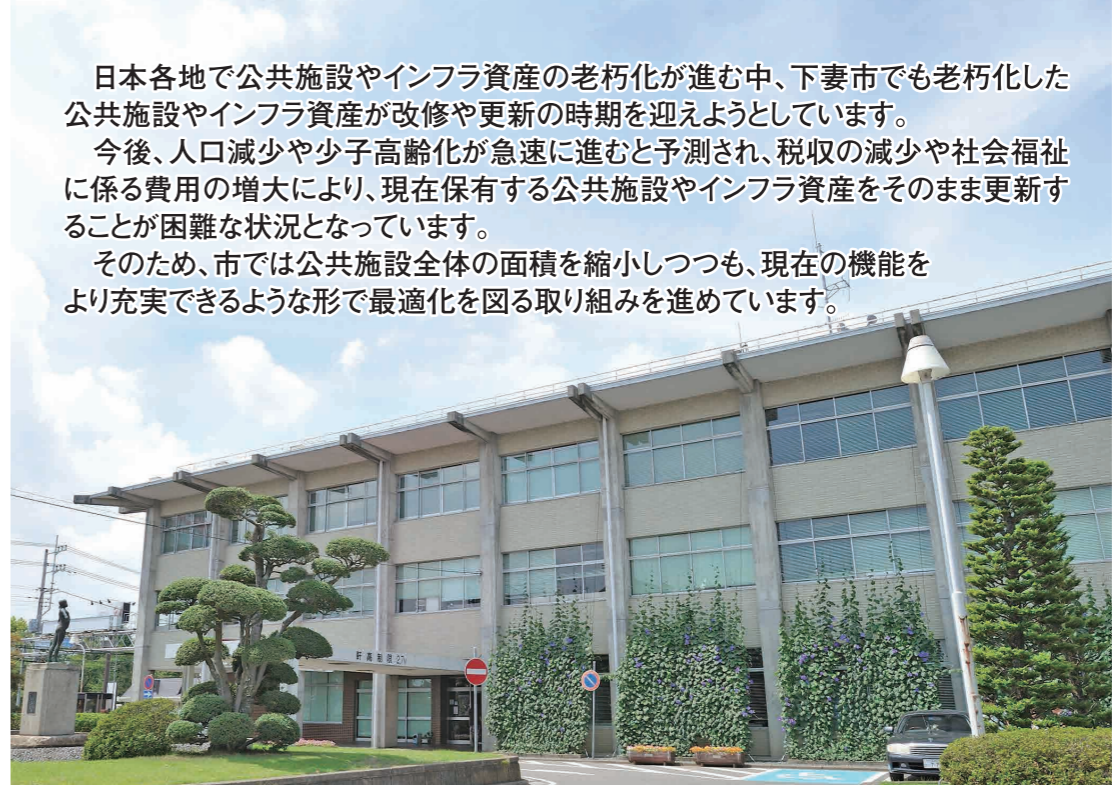
**インフラ資産の現状**  
インフラ資産は、重要な社会基盤ですが、その多くが老朽化を迎えています。



**公共施設の将来の更新費用**  
現在の公共施設をそのまま更新や改修を行った場合、今後50年間で約726億円もの費用が必要となります。特に今後30年間は約501億円、1年当たり約17億円が必要となるため、直近5カ年で公共施設の更新や改修にかかった費用の平均額である約12億円に比べ、1.3倍になります。



**インフラ資産の将来の更新費用**  
現在のインフラ資産をそのまま更新や改修を行った場合、今後50年間で約1,325億円もの更新費用が必要となります。1年当たりでは約27億円となり、直近5カ年でインフラ資産の新設や改修にかかった費用の平均額である約10億円に比べ、2.7倍になります。



将来の子どもたちに負担を残さないために…  
「公共施設等マネジメント基本方針」を策定

市では、公共施設やインフラ資産を計画的に改修・更新や統廃合などを行うことで、将来の財政負担を少なくし、市民サービスを充実させることを目的に、「公共施設等マネジメント基本方針(平成28年3月)」を策定しました。

問い合わせ 財政課 ☎43-2235

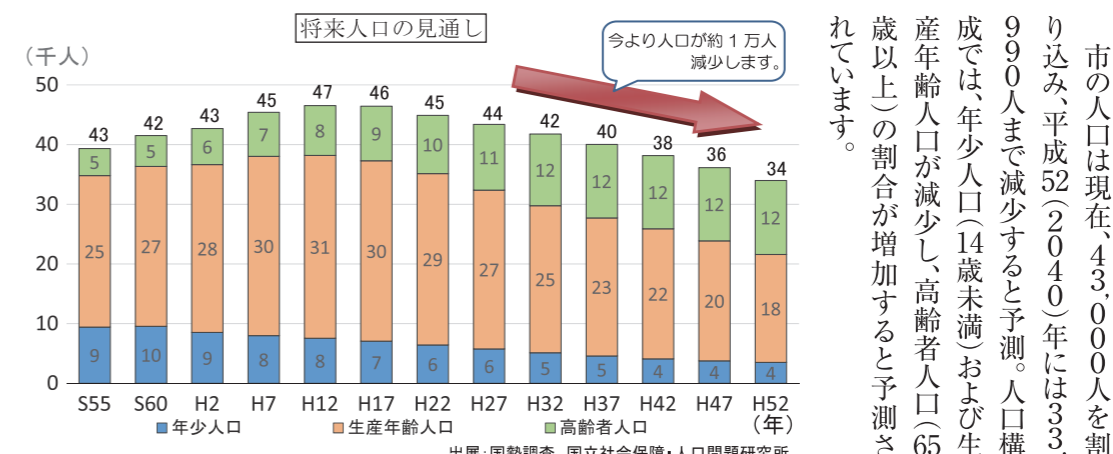
**公共施設等マネジメントの対象施設とは**  
基本方針では、市の保有する全ての「公共施設」と「インフラ資産」を対象としています。

**公共施設**  
庁舎、小中学校、市営住宅、公民館、体育館など

**インフラ資産**  
道路、橋りょう、上水道、下水道、都市公園

老朽化が進む市民文化会館と下妻公民館  
小貝川に架かる市道最長の橋「豊原橋」

特集  
みんなで考えよう！  
これからの公共施設



**データで見る下妻市の現状と課題**  
少子高齢化、人口減少社会の到来  
市の人口は現在、43,000人を割り込み、平成52(2040)年には33,990人まで減少すると予測。人口構成では、年少人口(14歳未満)および生産年齢人口が減少し、高齢者人口(65歳以上)の割合が増加すると予測されています。